

震筆勅書一冊

竹千代殿にいつき 震筆の勅書頂戴しよ

希右の四事一かき一あまぐらん一武の懸品者
胡家安養の山より海にひえり一なる一はら
小口はるらん一清くぬれあていよく子世
芳せきうとあひつり一はりては中流をけり
じき 天徳のいしを流す

十一月十日

家光御判

東福門院御方へ

右者 家綱公御返書之時震筆の勅書頂戴則后文
えは方ましくは清めをいふ后文の四方の家光公御
妹也

禁裏に御付書

為年頃之 清涼公令言と仍御太刀一腰御する一尺并蠟燭
子挨拶とくは此者臣被達 殿御御様

元正月九日 秀忠

廣橋大納言殿

勅院寺中納言殿

令汝宰相及

は互の事... 其の
及...
...

羽林^上内書

國より有願... 何年... 文之... 右... 同

侍従^上内書

為年... 以... 菱... 事... 太刀... 一腰... 馬... 之... 之... 來... 憚... 思... 石... 於... 酒... 井
飛... 樂... 以... 可... 伸... 之

月日... 御... 下

廣橋... 侍... 下

諸大夫^上内書

為重湯... 之... 嘉... 汝... 小... 袖... 一... 手... 之... 來... 憚... 思... 石... 猶... 酒... 井... 飛... 也... 以

之... 下... 之

月日... 御... 下

戸田... 宗... 女... 正... 之... 下

奉書... 之... 下

禁裏^上奉書

今... 汝... 為

儲... 君... 親... 王

宣... 下... 之... 下

禁中裏院中儲君沙方、以吉良少將、作入道國孫、
進款、以可然山、以披露、以好、以收、以淨、

正月廿九日

阿部豊後守
松平伊豆守
酒井頼業次

清用寺一位殿

野宮大納言殿

院中奉書

東照宮之額 仙洞被澤 宸翰刊彫、其、

涉、乃、下、刻、傳、上、質、人、以、事、滿、收、主、形、以、世、由、臣、右、

奏、達、青、被、作、出、上、同、上、得、其、意、可、然、山、上、達、

藏、圖、志、好、以、必、收、淨、

四月廿二日

希圖

小河坊、大納言殿

希大納言殿

宮門、御親王、門、御、上、去、

為、日、光、寺、門、跡、作、芳、物、之、披、見、也、

公方様並御嫌能事成り次第清満候旨申付其意
今度申上府中申上候事申上候事御思召候事候事候事
御使者候事候事 御思召候事候事候事候事
以由直右傳達候事候事候事

月日

前同

家司及

後常徳院教申書致好思
公方様並御嫌能事成り次第又度日光清満會
如相段候事候事候事候事候事候事候事候事

御封教申上候事候事候事候事候事候事候事
大原山内破損候事候事候事候事候事候事
之候事候事候事候事候事候事候事候事
傳話候事候事候事候事候事候事候事

月日

前同

山中兵部少中房

官親之御申上候事候事候事候事候事候事
輪王寺度候事候事候事候事候事候事候事
相違有候事候事候事候事候事候事候事

宮觀并坊清淮門跡

天台 日光山度々

日光

輪王寺殿

東嶽山兼節

天台 比叡山度々

栗田

青蓮院殿

大佛月

同 同

妙法院殿

同 同

梶井殿

右之門之内戒福次男被補度主

天台 園城寺之長史

圓滿院殿

照高院殿

實相院殿

右三年之輪補

真言 護國寺長者

嵯峨

仁和寺殿

号印室所

下醍醐

三寶院殿

法藏

大覚寺殿

勸修寺村

勸修寺殿

本山吼山伏司

右門之内戒福寺住持補長者

近代報恩院殿

三欽

法相

真福寺之寺勢

南都

一乘院殿

同

同 大乗院殿

花叢

東大寺之長者

吉野

隨心院殿

天台

本山吼山伏司

聖護院殿

聖護院殿

天台

一乘寺

一乘寺

曼珠院殿

淨土凡

東山

智心院殿

天台

昆沙門堂殿

同

常徳院殿

同

久遠院殿

私に右之沙門師と稱す但官方の合意に付右之門師と稱す之を親生
一は師と稱す門師と稱す一は持家より出入院と稱す持家門師清苑と
持家より出入院と稱す清苑と稱す其時より清苑持家より出入院と稱す

攝家門跡の奉書

御書致事人今度將軍

宣下之儀因是為思

被依以清使者被仰達上通事沿其意則之披露ハヒ立

入申事ハ抄ハ甚多クハ事ハ皆申宜右傳達ハ也謹ク

宣中 衣部

南院法橋の房

清花門跡の奉書

御書致事人今度

將軍宣下之儀因是為思

思言為以被依以清使者ハ抄ハ甚多クハ事ハ皆申宜右傳達ハ也謹ク

月日

前同

勸修寺殿

私曰清花ノ枝葉門跡寺ノハ入院ハ時々攝家方ノ御養存小
成存ノ如キ御存ノ如キノ攝家門跡ハ同

一向門跡の奉書

是と惟門跡ト思ナ

御書致事人今度

將軍

宣下之儀因是為思

為以被依以清使者ハ抄ハ甚多クハ事ハ皆申宜右傳達ハ也謹ク

入聖心惟此執受之世事以宜有傳達也

月日

家司友

私曰本邦古風之書右

善緣令持見以為法深以俟僧目隊之通被執之以執也
世事之也心之也首

月日

專修寺

真心寺

佛光寺

蓮花光院

准門跡

一向 西

一向 東

一向 一身田

一向 高田丸

一向 六条分

一向

六条

願寺

七条

願寺

專修寺

佛光寺

真心寺

蓮花光院

私曰右と准門跡と号す但右と願寺と代り
と家門跡号歟

抄家方奉書月抄家称号

私曰抄家方奉書中宗中石田光市門流と降
外之官門跡と奉書同申(号)

抄家称号

近傍 九條 二條 一條 鷹司

清花大后奉書月七清花称号

私曰清花大后奉書抄家門流と括(同申)略

持法輝 西園寺 徳大寺 花山院

大炊門 久我 今出川 号兼亭

清花 大中納言

同

宰相中少将

奉書

私曰 大納言

也綴波持身公忌惶降

花山院大納言

中納言

也札持身公忌惶降

久我中納言

宰相中少将

沙札を抄身にとりて漢之

平公家大納言

奉書

因中少将

私目抄家清家之外志故平公家といふ事書之は古撫清家
同し但ふ云くつとて中ありて

武家上奉書之改方

甲府細野郷

市之家平山端方

らく奉書

市書改抄公

あ上様草紙御婦能く如く承取思召音申す其意

御意今度らへ改方申す其意御承取思召音申す其意

此後抄紙通し申事は申由可有撰達必極得

月日

家月夜

宰相中少将上奉書

沙札を抄身にとりて漢之

同可也此の要らへて款之いふ事紙西に抄達

為し漢之

月日